

「定期健康診断結果報告書」記入要領

- 「定期健康診断結果報告書」は、常時 50 人以上の労働者を使用する事業者が、労働安全衛生規則第 44 条（一般健康診断）、第 45 条（有害業務等の健康診断）に基づく健康診断を実施した場合に、所轄の労働基準監督署あて提出します。
- 提出期日は、「遅滞なく」とされています。提出部数は 2 部、うち 1 部は事業場控分です。
- 報告様式は、[厚生労働省のホームページ（ここをクリック）](#) から印刷できます。印刷用紙は A4 普通紙を用い、印刷に当たっては、「ページサイズ処理」の部分を「実際のサイズ」（バージョンによっては、「ページの拡大/縮小」の部分を「なし」）に設定して印刷してください。その他、ダウンロード時に表示される「印刷時の注意事項」をよく確認します。
- 報告書裏面の備考の注意書を確認します。
- 黒のボールペンで記入します。

80311	労働 保険 番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>							
		〔都道府県〕〔所業〕〔管轄〕		基幹番号		枝番号		被一括事業場番号	
対象年	7:平成 →	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <small>1~9年は右↑</small>	(月 ~ 月分) (報告 回目)	健診年月日	7:平成 →	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<small>1~9年は右↑ 1~9月は右↑ 1~9日は右↑</small>		
事業の 種類				事業場の 名称					
事業場の 所在地	郵便番号()			電話 ()					

- 労働保険番号：事業場の保険番号を確認し、記入します。
- 対象年：健康診断を実施した年を記入します。
- (月 ~ 月分)：一定期間をまとめて報告する場合は、何月から何月まで実施したかを記入します。
- (報告 回目)：当該年においてこの報告書が何回目なのかを記入します。
- 健診年月日：健康診断を何回かに分けて実施し、まとめて記入報告する場合は最終の健診年月日を記入します。
- 事業の種類：日本標準産業分類の中分類を記入します。

健康診断実施機関の名称		在籍労働者数	□□□□□人 右に詰めて記入する↑
健康診断実施機関の所在地		受診労働者数	□□□□□人 右に詰めて記入する↑
<small>(※) 労働安全衛生規則第13条第1項第2号に掲げる業務に従事する労働者数(右に詰めて記入する)</small>			
イ	□□□□□人	ロ	□□□□□人
ハ	□□□□□人	ニ	□□□□□人
ヘ	□□□□□人	ホ	□□□□□人
ヘ	□□□□□人	ト	□□□□□人
チ	□□□□□人	リ	□□□□□人
チ	□□□□□人	ル	□□□□□人
ル	□□□□□人	計	□□□□□人

- 健康診断実施機関の名称：一般財団法人順天厚生事業団
- 健康診断実施機関の所在地：神戸市中央区楠町 3 丁目 1 番 12 号
- 複数の健康診断実施機関がある場合は、それぞれについて記入します。
- 在籍労働者数：健診実施年月日現在の常時使用する労働者数を記入します。社会保険加入者となり、臨時的に雇用している労働者は含みません。
- 受診労働者数：健診実施年月日現在の受診労働者数を記入します。当事業団から送付しました「労働基準監督署報告用集計資料(以下「集計資料」といいます。)」の「受診労働者数」の数値を移記してください。
- イからカには、労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号に掲げる下記の特定業務に常時従事する労働者がいれば、その人数を記入します。計には、イ～カの合計値を記入します。下記の業務に常時従事する労働者は、6 か月以内ごとに 1 回、定期健康診断を実施する必要があります。
- イ 多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務
- ロ 多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務
- ハ ラジウム放射線、エックス線その他の有害放射線にさらされる業務
- ニ 土石、獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務
- ホ 異常気圧下における業務
- へ さく岩機、鋸打機等の使用によって、身体に著しい振動を与える業務
- ト 重量物の取扱い等重激な業務
- チ ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務
- リ 坑内における業務 ヌ 深夜業を含む業務
- ル 水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、青酸、か性アルカリ、石炭酸その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務

ヲ 鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、ベンゼン、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、蒸気又は粉じんを発散する場所における業務

ワ 病原体によって汚染のおそれが著しい業務

カ その他厚生労働大臣が定める業務(現在のところ設定されていません。)

健康診断項目		実施者数		有所見者数			実施者数		有所見者数	
		人	人	人	人		人	人	人	人
健康診断項目	聴力検査(オーゾメーターによる検査)(1000Hz)	□□□□□	人	□□□□□	人	肝機能検査	□□□□□	人	□□□□□	人
	聴力検査(オーゾメーターによる検査)(4000Hz)	□□□□□	人	□□□□□	人	血中脂質検査	□□□□□	人	□□□□□	人
	聴力検査(その他の方法による検査)	□□□□□	人	□□□□□	人	血糖検査	□□□□□	人	□□□□□	人
	胸部エックス線検査	□□□□□	人	□□□□□	人	尿検査(糖)	□□□□□	人	□□□□□	人
	喀痰検査 <small>かくたん</small>	□□□□□	人	□□□□□	人	尿検査(たんぱく)	□□□□□	人	□□□□□	人
	血圧	□□□□□	人	□□□□□	人	心電図検査	□□□□□	人	□□□□□	人
	貧血検査	□□□□□	人	□□□□□	人					

○ 健康診断項目：項目ごとの健康診断の実施者数と項目ごとの有所見者数を記入してください。「集計資料」の健康診断項目欄の各数値を移記してください。

労働安全衛生規則第 44 条の規定により、医師が認める場合は省略できるものがありますが、実施者数が受診労働者数に満たない場合もあります。

所見のあった者の人数	□□□□□	人	医師の指示人数	□□□□□	人
------------	-------	---	---------	-------	---

○ 所見のあった者の人数：何らかの項目に所見のあった者の人数を記入します。「集計資料」の「所見のあった者の人数」欄の数値を移記してください。

なお、上記の「健康診断項目」の「有所見者数」を単純に足した人数ではありません。1 人の労働者が複数の項目に所見があった場合でも 1 人と数えます。「所見のあった者の人数」が、各健康診断項目の有所見者数より小さくなることはありません。

○ 医師の指示人数：「集計資料」の「医師の指示人数」欄の数値を移記してください。ただし、これは「所見のあった者の人数」のうち、健康診断の結果、要医療、要精密検査、要再検査、休業・就業制限のかかった方等医師による指示のあった者の数


を記入するものですので、産業医等の判断により、「集計資料」欄の数値を変更する
必要が生じる場合もあります。

産 業 医	氏 名 <small>所属医療機関の 名称及び所在地</small>	(印)
-------------	---	-----

○ 事業場で選任している産業医の氏名、所属先及びその所在地を記入し、産業医から
確認印をもらってください。

年 月 日

事業者職氏名
労働基準監督署長殿

(印) 

|

○ 代表者の職氏名と代表者印を忘れないようにしてください。

一般財団法人 順天厚生事業団担当：
業務課 (078-341-7114)